

ガス業界



都市ガスとLPGの連携強化で共同宣言を行ったコロバの広瀬会長(右)

LPGと連携し推進

今年3月、日本ガス協会(東京都港区)と日本LPGガス団体協議会(同)、日本コミュニティガス協会(同)の3団体は、2005年10月に設立した日本ガスエネルギー普及促進協議会(通称「コロバ」)の活動を再び強化することを決定。第2ステップとして、新たな取り組みに着手したい(広瀬明彦コロバ会長)とし、都市ガスとLPGの連携を強める共同宣言も行った。具体的にはコージェネシステムの一つ、家庭用燃

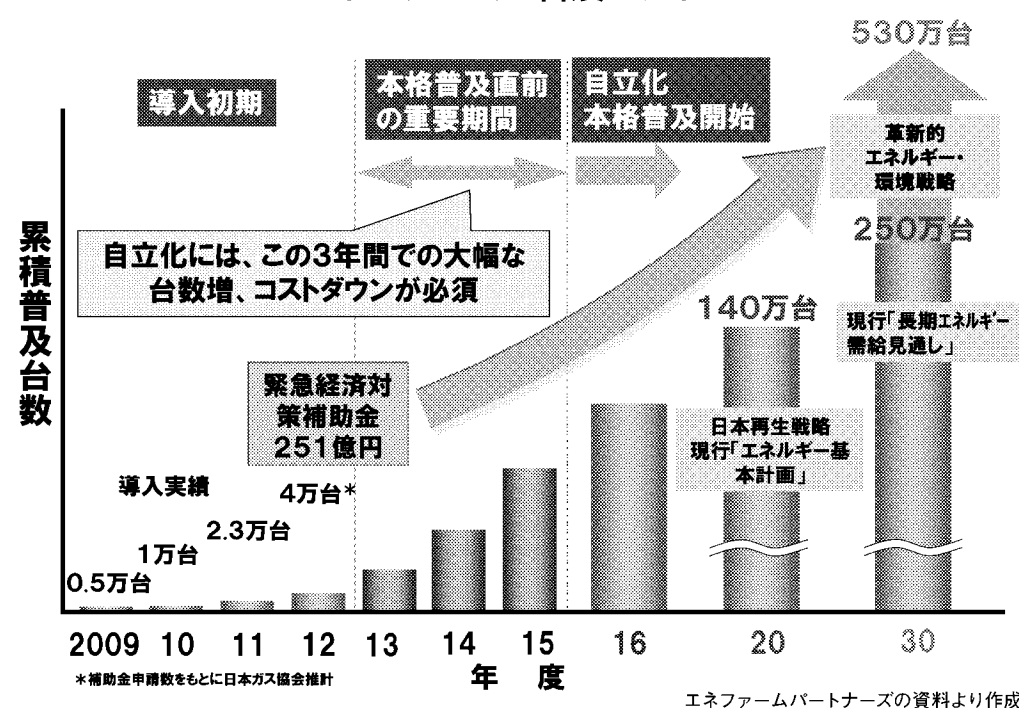
料電池「エネファーム」を中心に、ガスによる床暖房、浴室暖房乾燥機など共通の家庭用建材を協力して拡販。さらに、国に対しガス体エネルギーの利用を促進させるような政策提言を行っているとした。

その際、広瀬コロバ会長は「エネファームをこれからさらに普及させるには、メーカーや住宅業界とガス事業者の3者で進めることが大事。そうした連携も検討したい」と発言。それが5月末にエネファーム普及推進協議会「エネファームパートナーズ」の立ち上げという形で実現した。事務局はコロバが務め、住宅生産団体連合会、不動産協会、日本建設業連合会と燃料電池メーカーの5団体・59社が参加して発足した。設立総会には経済産業省、国土交通省、環境省の政務官や幹部も出席し、普及の障害となっていたエネファームを日本発の商品として、世界に輸出決していく予定だ。

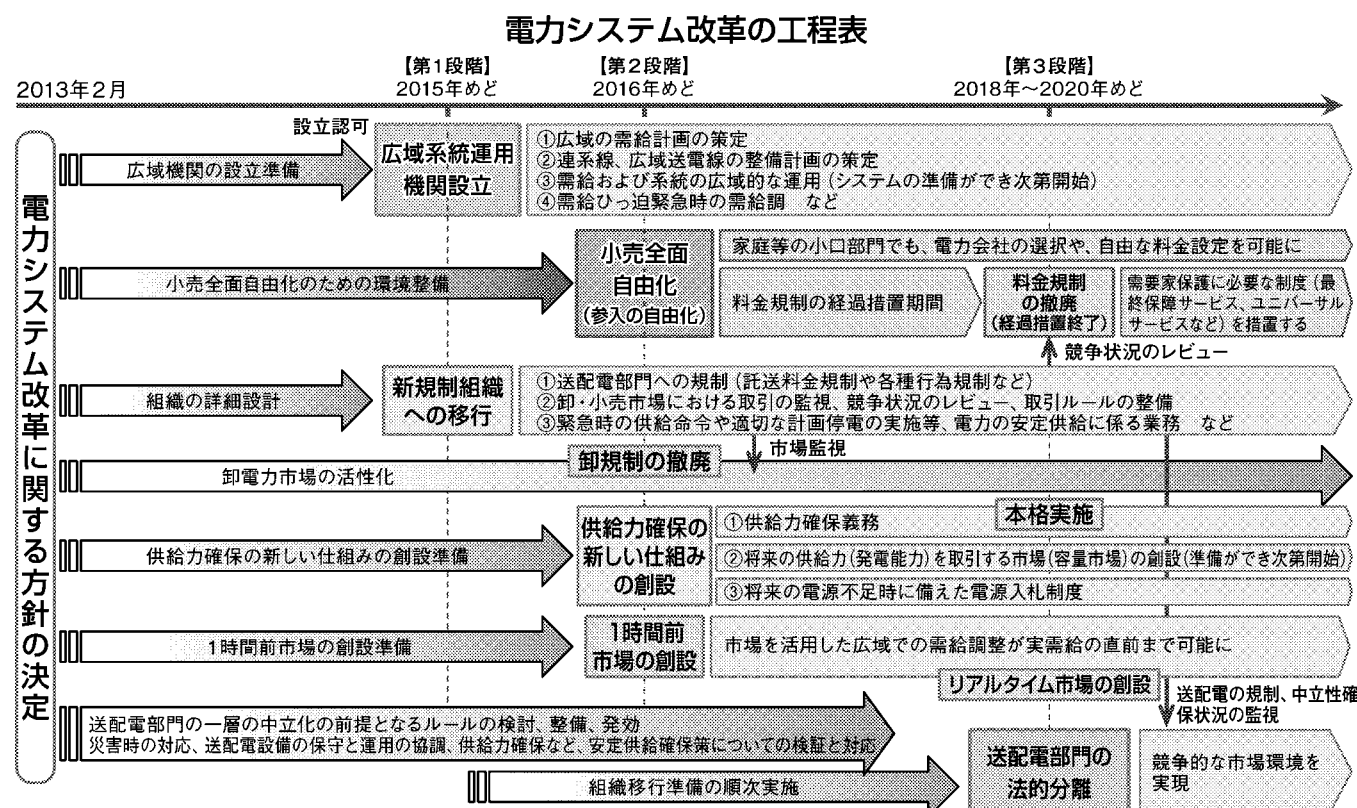


ガス、住宅、電池メーカーの3者が一堂に会したエネファームパートナーズ設立総会

エネファームの普及シナリオ



エネファーム普及へ動き加速



3段階で進む電力改革

電力システム改革の狙いは3点。電力の安定供給、電気料金の最大限の抑制、さらに電力ユーザーである企業や一般家庭の電力選択と企業の新規参入機会を拡大する。こうした改革で電力市場そのものを活性化し、競争環境を導入することも狙っている。改革が進む過程で全国の安い電源から使う「メリットオーダー」や、需要側で発電側の状況をモニターしながら蓄電池やエネルギー管理システムなどを活用し、電気料金を抑えようと

電力の安定供給 料金の最大限の抑制 新規参入機会を拡大

いったいどんな改革も開ける。改革は電気事業法を3段階で改正することで実現する。第1段階は2015年をめどに「広域系統運用機関」を設立する。この機関が主導し全国に散らばる発電所の電力を、夏場や冬場の需給ひっ迫に際し、電力会社間の区域を越えて需給を調整する。第2段階の改正は14年通常国会に法案を提出。16年をめどに電気の小売業への「参入」を全面自由化する。企業だけでなく

市場活性化狙う

東日本大震災という想定外の大規模自然災害に見舞われて顕在化した、わが国電力システムの「ぜい弱性」。東西で電力周波数が異なるのに加え、地域ごとに電力を最適供給する国策だったことから、大震災後の夏場に2度経験した電力需給ひっ迫時の地域間の電力融通は、その柔軟性に限界があった。こうした課題を解決しつつ、大手電力と新規参入企業、ユーザーの三方にメリットのある改革を推し進めようと、政府は3段階で電力システム改革に乗り出す。

エネルギー新時代

これからは「ガス冷暖房」の時代

クリーンエネルギー天然ガスを利用して環境にやさしく、省エネ・省コストにもつながるガス冷暖房。エネルギー消費効率(COP)の部分負荷に加え、中間性能が特に優れているから高い省エネ効果が期待されます。さあ、これからは、経済的でエコにも繋がる「ガス冷暖房」がおすすめです。

Design Your Energy 夢ある明日を

大阪ガス

お問い合わせは 06-6205-4670

<http://www.osakagas.co.jp/>

大阪ガス ガス冷暖房

検索